

平成30年度実施施策に係る政策評価の事前分析表

(環境省30-28)

別紙1

施策名	5-7.国際観光資源の整備				担当部局名	自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室 自然環境整備課		作成責任者名 (※記入は任意)	国立公園課長 田中 良典 国立公園利用推進室 長 西村 学 自然環境整備課長 池田 幸士			
施策の概要	美しい国立公園等の自然を持続的に活用し観光資源の整備等により、内外の旅行者の地域での体験滞在の満足度の向上を図る。				政策体系上の位置付け	5. 生物多様性の保全と自然との共生の推進						
達成すべき目標	平成28年3月に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」に掲げる2020年国立公園訪日外国人利用者数1000万人の目標を達成し、「観光先進国」の実現に貢献する。				目標設定の考え方・根拠	・明日の日本を支える観光ビジョン ・国際観光旅客税(仮称)の用途に関する基本方針等について(観光立国推進閣僚会議決定) ・自然公園法		政策評価実施予定時期	平成〇年〇月			
測定指標	基準値		目標値		年度ごとの目標値 年度ごとの実績値						測定指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠	
	基準年度	目標年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
1 国立公園訪日外国人利用者数	490万人	27年度	1000万人	32年度	-	-	-	-	-	-	1000万人	・政府の「明日の日本を支える観光ビジョン」に基づき実施している「国立公園満喫プロジェクト」において、2020年に1000万人の目標を掲げているため。
2 利用施設の多言語化	-	-	40施設	32年度	-	-	-	-	8施設	24施設	40施設	
達成手段 (開始年度)	予算額計(執行額)			当初予算額	関連する指標	達成手段の概要等					平成27年 行政事業レビュー 事業番号	
	27年度	28年度	29年度	30年度								
国立公園多言語解説等整備事業(平成30年度)	… (…)	… (…)	…	250百万円	1,2	<達成手段の概要> 国立公園内における、訪日外国人の体験滞在の満足度を向上させるため、利用者ニーズを踏まえ、ICT等の先進的技術を活用し、魅力的な多言語解説及び情報発信の環境整備等を進める。						
施策の予算額・執行額	… (…)	… (…)	…	…	施策に係る内閣の重要政策 (施政方針演説等のうち主なもの)		施政方針演説					